



暦の上ではもう秋。新学期も始まっていますが、ちょっと夏の疲れが...

そんな時には元気の出る本を読んで、夏の疲れを吹き飛ばしましょう。元気の出る本もいっぱいあります。

教育ライブラリーには、たくさんの教育図書、研究紀要・論文、教育雑誌、視聴覚資料などがあります。

この『教育ライブラリーだより』では、できるだけ新しいものを中心に時折旧刊も交えながら、教育図書や雑誌などの紹介をしたいと思います。

教育ライブラリーでは、閲覧はもちろん貸出もできます。基本的に土曜日も利用できます。開館予定日は当ホームページでご確認ください。

書籍紹介

① 「ぼ、ぼくの、いむあしえんへい」

井村信行／著

(海声社 1985年7月6日発行)

著者の井村信行氏は、香川師範学校を卒業し旧満州での軍隊招集を経て戦後、高松市立小学校の教諭として特別支援教育、当時の言葉では特殊教育に出会いました。香川県で知的障害者等に対する特別支援教育が普及し始めた頃の大先輩であり先駆者です。本書では、著者の教師生活の中で出会った子どもたちや保護者たちとの人間味あふれる交流が綴られています。そして何よりも印象に残るのは、著者のこの教育に懸ける熱い思いです。淡々と、またユーモアたっぷりに綴られているエピソードの一つ一つから、著者の子どもたちを思う気持ちが滲みだしています。表題の「ぼ、ぼくの、いむあしえんへい」は、著者が担任していたある子どもが、在学中も卒業してからもずっと口にしていた言葉です。卒業して何年かぶりに井村先生に会ったこの子は、周りの人たちに誇らしげに言います。「い、いむあしえんへいやでー。しらんのかいな。ぼ、ぼくのしえんへいやでー」。そして井村先生に言いました。「い、いむあしえんへい。お、お、おそかったやないか」。この「おそかった」は、久しぶりとか、とても会いたかったとか、元気だったとか、とにかく彼の万感の思いのこもった言葉でした。そして著者はあらためて思うのです。「いま目の前にいる子どもたちの一人ひとりにとって、『ぼくの井村先生、私の井村先生』にならねば」ならない。特別支援教育に限らず教育に携わる方に、ぜひ一度読んでみてほしい一冊です。

② 「これからの教師のための思考法 失敗から学ぶ」

穴戸寛昌・長瀬拓也/編著

(東洋館出版 2021年7月12日発行)

「失敗は成功の基」ということわざがありますが、本書はその教訓的な意味合いから一歩進んで、失敗を「科学的に分析」し「次の実践への手がかり」にするという観点で編纂された実践書です。先輩教師のせきららなエピソードを基に、失敗との向き合い方を具体的に学ぶことができるのです。

教師になった多くの人が経験する失敗、例えば・・・「楽しいことを提供することが教師の仕事と誤解していた」、「子どもたちの実態を見ることができなかった」、「『クラスの仲間でしょ』の押し売りが学級の軋みになってしまった」、「前年度の学級の雰囲気をつまみつかないまま、学級をまとめることができなかった」、「児童が怪我をしたときの対応に失敗した」、「保護者対応が後手にまわ

った」といったような失敗エピソードがたくさん紹介されています。あなたはきっと、「すごい先生も失敗してるんだ」とホッとすることでしょう。でもそれだけでは終わりません。

失敗を明かしたご本人が、失敗のビフォーとして「教師本人の内面」「職場の雰囲気」「子どもは・・・」といった観点から原因を分析し、失敗のアフターを「内面のリフレーミング」「同僚のフォロー」「出合った言葉」といった観点から価値づけているところで、読者が直面している深刻な問題の解決に向けたヒントがちりばめられていることに気付くはずです。

また、そうした個々の問題の解決に向けたヒントに加えて、今後経験するであろう様々な失敗の分析方法として、「事象」「経過」「原因」「対処」「総括」「知識化」といった一連の思考過程を示しています。つまり、失敗の捉え方、今後への生かし方が分かるのです。

教職の壁にぶつかっているあなた、壁にぶつかって悩んでいる同僚や部下のいるあなた、そんなあなたに本書はこう語りかけてくれるはずです。

「失敗しないように全力で、でも失敗してもくじけないで」

「失敗を批判しないで」

「他者の失敗に共感できるようになって」

雑誌紹介

雑誌名	号	特集等（抜粋）
国語教育 (明治図書)	9月号	特集1：永久保存版！どの子も「書ける」全指導 －日記、紹介文、意見文から創作まで－ ・どの子も「書ける」指導の極意 子供がどんどん「書ける」指導の極意 入門期に押さえない作文テクニックの極意 ・書けない子も「書ける」指導の極意 書けない子を「書ける」に変える指導の極意 子供が書きたくなる課題設定の極意 全く書けない子も「書ける」3ステップの極意 ・「書ける」活動アイデア 特集2：令和5年度 全国学力・学習状況調査の見方・活かし方 ・小・中学校の授業アイデア 連載： 今月の発問づくり講座 「縦比較」「横比較」
社会科教育 (明治図書)	9月号	特集：一度習ったら忘れない！目からウロコの歴史人物学習 ・一度習ったら忘れない！歴史人物を切り口にした授業デザイン 児童生徒が現代社会を築くための歴史人物学習、4つの基本 ・一度習ったら忘れない！目からウロコの歴史人物学習 実践編 連載：わが県の情報 ここに「この授業あり」香川県の巻 ・授業づくりの教科書 室町時代を多角的な視点で教材化する ・社会科「個別最適な学び」への挑戦 「間」を活かす ・大人もハマる最新授業ネタ 危機からの国づくりー白村江の戦いー ・歴史教育はどう変わるのか 「日本史探究」の科目の特徴を捉える ・生徒も教師も楽しくなる 正解のない問いからはじまるアクティビティ ・学習指導案の理論と実践モデル 「本時の展開」の理論を考える

数学教育 (明治図書) 9月号	特集：全員楽しめるヒントつき！全単元の「おもしろ難問」コレクション 「負の数が入った魔法陣」「1辺の基石の数は何個？」「表面積が変わらない立体は？」「企画紙のすばらしさ」「江戸時代の図形問題に挑戦」他 高校数学の「おもしろ難問」 連載：・日常生活や社会の問題解決に一次関数を活用する力 ・「探究的な授業」 発想の源を問い、思考のプロセスの表出を促す ・振り返りの活用 ロイロ活用授業 ・テセレーションでつくる数学アートパズル 非周期モノタイルの発見
理科の教育 (東洋館出版社) 9月号	特集：教師と子どもの思い込みや想いの「ギャップ」を補う指導の工夫 ・日常生活や社会との関連を重視すること 連載：・探究的な学びを目指した密度の実験 ・アナロジーを有効に活用する能力の育成 ・「ないこと」を確かめる実験 ・丸底フラスコで凸レンズの理解を深める ・本当か？ 甘いトマトは水の沈む説
英語教育 (大修館書店) 9月号	特集1：一人ひとりの学びに寄り添う 学力差に対応する指導 ・英語に苦手意識のある学習者をどう動機づけるか 3つのポイントから ・板書とデジタル教科書を活かした生徒の実態に応じた指導 ・「英語コミュニケーション」と「論理・表現」を繋げ 特集2：生成AIがひらく言語・教育研究の地平 ・ChatGPTはどうやって言葉を学習しているのか？ ・生成AIの言語教育へのインパクト ・ChatGPTとCode Interpreterの英語教育・コーパス構築への応用 特別記事：・現場目線で考える教員不足問題 ・英語教員よもやま話 オリジナル教材の落とし穴？ ・「教えない授業」って「教え込む経験」がなくてもできるの？ ・大学入試問題の語順整序問題が問うものは ・データサイエンス時代とその先へ ・be動詞の謎：「である」と「いる・ある」 ・沈黙のレトリック ・コトバを見つめて（最終回）/若松英輔 ・英詩とめぐる12か月
道徳教育 (明治図書) 9月号	特集：最新キーワードまで網羅！ 道徳教育の新常識 ・2030年以降の学校教育と道徳教育 ・キーワードでよくわかる 道徳教育の新常識 個別最適な学び・協働的な学び デジタル教科書 情報活用能力 生成AIの活用 デジアナ・マネジメント SDGs 平和学習 消費者教育 ESD 男女共同参画 ヤングケアラー LGBTs 等 連載：・新道徳授業論 賢治の「本当のさいわい」から考えを深める ・おもしろすぎて授業したくなる森岡健太の板書：ペルーは泣いている ・状況『比較』で深める ChatGPTの活用
授業力&学級経営 力 (明治図書) 9月号	特集：教室づくりから机間指導まで「自己調整力」を促す指導技術大全 ・「教室づくり」の技術 ・「システム・ルールづくり」の技術 ・「任せる」技術 ・「叱らない」技術 ・「質問する」技術 ・「勇気づける」技術 ・「待つ」技術 ・「単元づくり」の技術

		・「つなぐ」技術 ・「きく」技術 ・「ヒントを出す」技術 小特集：いよいよ2学期！ リスタートの学級&授業チェックリスト 連載： ・CANVAのAI機能が子どもの創造力を拡張していく ・レベル別全図解 教師のほめる技術 子どもの発言を育てる ・「学びにくさ」が生まれない教室づくり 計算できることはマストか？ ・森岡健太先生のクラス覗いてみた 道徳を通した学級経営
生徒指導 (学事出版)	9月号	巻頭インタビュー：生成AIを学校で使いこなすために/利根川裕太 特集：生徒を「性被害」から守るために ・「性暴力公害」に日々、曝される子どもたち ・性暴力の加害者・被害者・傍観者にならないために ・先生が気をつけるべきハラスメントについて ・性被害の早期発見のために、知っておくべきこと、すべきこと ・学校で行う性被害を受けた子どもへの対応と場のケア ・先生と生徒で共有してほしい「痴漢の真実と対策」 連載： ・新しい提要・新しい生徒指導 第7章 児童虐待 ・多様な背景をもつ子どもへのまなざし 学校における多文化共生教育 ・学びのための校則改正 議題4 通学時の下靴について ・これからのデジタル・シティズンシップ教育 生成AIについて ・押さえておきたい毎日の生徒対応 授業中に居眠りしている生徒 ・えざわ先生の時間のつくりかた 時短のプロが使うICTツール ・違いを受け入れる「ほめ育」 ・突然AI時代が到来した学校現場
教職研修 (教育開発研究所)	9月号	巻頭企画：これからの学び、これからの学校 特集1：「誰一人取り残さない学校」をキレイごとで終わらせない ・「誰一人取り残さない学校」とは、どんな学校か ・すべての子どもが安心できる学級を子どもたち自身がつくる ・学校内に教室以外の子どもの居場所をつくれるか 特集2：先生、やめないで。若手教員のメンタルヘルスを守る ・若手教員をとりまく労働環境と制度的問題 ・〔匿名座談会〕若手教員の本音 ・「子どものために」を問い直す ・夏休み明け、あれ？と思ったときにできること 連載： ・アメリカの教員の労働時間が短い理由 ・スクールロイヤーと考える学校経営 部活動の地域移行に伴う責任の所在 ・学校づくりのスパイス 「成長の土壌」をわすれていないか？ ・授業を変えるー本丸から逃げない加賀市の学びの改革 ・不登校の論点 かまくら ULTLA プログラム ・フィンランド見聞録ー幸せの国の学校現場から 先生にも“夏休み” ・通常の学級での特別支援教育へのテクノロジーの影響
初等教育資料 (東洋館出版社)	9月号	特集Ⅰ：資質・能力の育成に向けた授業づくり2 ー思考力、判断力、表現力等の指導と評価を軸に②ー 特集Ⅱ：[算数]子供たちの身の回りの問題を題材とした算数指導の実践 ・給食の食べ残しを減らそう データを基に自分たちの行動を振り返り ・下級生はなかよし班活動に満足していると言える？言えない？ ・生活数理で身の回りの問題を解決する

中等教育資料 (学事出版)	9月号	特集：情報活用能力を育成する指導の充実 ・“Be the Player” 自分で考え 動く 生み出す そして社会を変える ・学校の教育活動全体を通じて「生徒の主体性」を育むことが情報活用能力の育成につながる 連載：・教育小景 企業人から見た人材論 ・各教科等の改善／充実の視点 各教科調査官
学習情報研究 (学習情報研究センター)	7月号	特集1：STEM/STEAM 教育 ・STEM/STEAM 教育の実践と取り組み ・コンサルティング業界から STEAM 教育へのアプローチを考える ・STEAM 教育を通して学校と地域の連携をどう考えればよいのか 特集2：特別支援教育と ICT 連載 ・集合知を用いたマンガ要約における再現性と頑健性の検証 ・経済的支援を要する児童生徒の教育支援を行った大学生の認識
実践みんなの特別 支援教育 (Gakken)	9月号	特集：教師の働き方改革に役立つモノ・コト・システム 連載：・1活動10分でできる「自立活動」 ・季節や行事を楽しむ「イラスト教材」 ・「放課後等デイサービス」との連携 ・学びを個別最適化する「ICT 活用」 ・「協同学習」のきほん ・教師の「お悩み解決」相談所 ・授業に生かす「ABA」 ・「みんなのミニマム手帳」活用術
特別支援教育研究 (東洋館出版社)	9月号	特集：「各教科等を合わせた指導」における「個別最適な学び」と「協働的な学び」 連載：/ ・格至日新 医療の現場からみた特別支援教育 ・今こそ知りたい特別支援教育の基礎知識 なるほど！ 感覚過敏の解説と支援の研究 Part2 ・やりがいと手ごたえのある学校生活を生み出す「できる状況づくり」 ICT 機器を活用した部活動の「できる状況づくり」Part2 ・ユニバーサルデザインの視点を活かす！ 通常の学級における個別最適な学びと協働的な学び ・通級指導担当者からの発信 自立活動 ホップ・ステップ・ジャンプ！ 「人間関係の形成」の項目を含む指導の実践 ・ICT で変えよう！特別支援学級の授業づくり やってみよう！PowerPoint でオーダーメイドの教材づくり ・情報解説 強度行動障害の理解と支援 ・全国縦断 我が校の実践研究 兵庫県立阪神昆陽特別支援学校
学校図書館 (全国学校図書館 推進協議会)	8月号	特集：第5次[子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画]を読み解く ・本が好き・人が好き・まちが好きー第5次[子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画]を学校図書館から読み解く ・すべての子どもが多様な学びを得られる学校図書館を創るには ・図書館界に吹きはじめた新しい風 連載：・知的障害のある人の読書を支援するーLL ブック ・本と人をつなげるラーニングコモンズ ・作って飾ろう 祝！敬老の日/防災の日/「仕切板」にイラストを添える

高校教育 (学事出版)	9月号	巻頭インタビュー：グローバル視点で見たコロナ後の日本の教育（下） 特集：高校版 GIGA のゆくえ ・高校版 GIGA の整備状況と ICT 教育、次の一歩 ・生徒の資質能力育成を目指した ICT 環境の整備と ICT 活用指導力向上 ・「始動人」の育成に向けた教育 DX の推進 ・高校は GIGA スクールで何をを目指すのか ・まずは先生たちが生成 AI を使ってみましょう/利根川裕太 連載：・ちょっと拝見 学校訪問 横浜学園高等学校 ・シン・高校教育論 Z 世代のキャリアプラン ・「探究科」校長！荒瀬克己の「おとなの探究基礎」話し合う場をつくる ・教室マルトリートメント② 不適切な指導の影響と対策/妹尾昌俊 ・心のエンジンを駆動させる 미래の高校教育 大阪府立千里高等学校 ・悲鳴をあげる学校 「生徒指導提要」の改訂からルールメイキングへ ・高校教育のアキレス腱 ちぐはぐな高卒就職への思い ・授業改善のリーダーシップ 「KOKO」が学校を変える？ ・探究を育てる土壌づくりー広島版「学びの変革」アクション・プラン③
学校事務 (学事出版)	9月号	巻頭インタビュー：学校で生成 AI とうまく付き合うには/利根川裕太 特集：事務職員の／による働き方改革 ・「学校の働き方改革」に事務職員としてどのように向き合えるか ・「創発」を楽しむ学校事務職員で「楽」「楽」働き方改革 ・部活の地域移行があなたの「働き方」を変える？ 連載 ・事務職員のお悩み相談室 ・事務職員のための学校理解入門：学校の清掃は何のため？ ・「標準職務例」から読み解く！業務のポイント解説 補助金・委託料に関する事務 情報公開、情報の活用 ・勤務時間の割り振り変更と変形労働時間制 ・今月の書評：『15 歳からの社会保障』
指導と評価 (日本教育評価研究会)	9月号	特集1；英語教育の現状と課題 特集2；わが校の授業研究・中学校 連載：・算数科で育てる「思考・判断・表現」する力 ・読解力の育成（小学校） ・書くことの指導（小学校） ・いま必要な校内研修 ・漢字を教える・学ぶ ・知能検査の活用